

会議要録

会 議 名	第3回港区立小・中学校スクールカウンセリング及びスクールソーシャルワーク事業等業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年2月8日（水曜日）午後4時から午後5時30分まで
開 催 場 所	教育センター 研修室1
委 員	（出席者）木村元紀委員、高階恵子委員、松浦正和委員 上村隆委員、篠崎玲子委員 （欠席者）無
事 務 局	澤木俊宏、増岡文也(教育支援係)、守屋友紀（指導主事）
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 資料説明 3 第二次審査 <ol style="list-style-type: none"> (1) プレゼンテーション (2) 質疑応答 (3) 採点 4 採点結果集計 5 審査講評 6 事業候補者の決定 7 その他 8 閉会
配 付 資 料	<p>[配付]</p> <p>次第</p> <p>資料1 「第2回港区立小・中学校スクールカウンセリング及びスクールソーシャルワーク事業等業務委託事業候補者選考委員会議要録」</p> <p>資料2 「港区立小・中学校スクールカウンセリング及びスクールソーシャルワーク事業等業務委託事業候補者選考第二次審査タイムスケジュール」</p> <p>資料3 「港区立小・中学校スクールカウンセリング及びスクールソーシャルワーク事業等業務委託事業候補者選考第一次審査採点表(集計)」</p> <p>資料4 「港区立小・中学校スクールカウンセリング及びスクールソーシャルワーク事業等業務委託事業候補者選考第二次審査採点表（2事業者分）」</p>

会議の結果及び主要な発言

1 開会

2 資料説明
(事務局説明)

3 第二次審査

事業者①

(1) プレゼンテーション
(事業者説明)

(2) 質疑応答

2点質問があります。

1点目は、これまで関わってきた自治体の実績はどの程度あるか教えてください。

2点目は、業務を行う上で関係機関とどのような連携を行ってきたか教えてください。

B委員

事業者①

1点目の回答です。現在、3つの自治体と、5つの私立学校で業務を請け負っています。

2点目の回答です。スクールソーシャルワークであれば、学校や教育委員会に相談、ヒアリングして状況を把握した上で、学校の許可が得られれば必要に応じて児童相談所等と連携をとりながら対応しています。

D委員

事業者①

会社として、指定している医療機関との連携はありますか？

指定している医療機関との連携はありません。

D委員

保護者、学校が医療機関を紹介してほしいと要望した際にはどのような対応が可能でしょうか。

事業者①

同じ地域を長く担当しているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーについては、関係機関との連携の中で信頼できる医療機関を紹介することはありますが、独断での判断はできないため、学校とのヒアリングの中で必要に応じた紹介を心掛けています。

E委員

3点質問があります。

1点目は、担当する地域によって児童・生徒が抱える問題も異なりますが、地域ごとにどのような対策を講じているか教えてください。

2点目は、港区の担当となった場合、どのような属性をもった担当者に業務を任せる予定か教えてください。

3点目は、スクールカウンセリングの対応が長引いた場合、会社としての手法が統一されていないと品質の担保が難しくなると思いますが、会社として独自のノウハウがあれば教えてください。

事業者①

1点目の回答です。家庭内の関係性や友人関係等、ケースによって抱える問題は多種多様なため、カウンセラー同士での事例共有や勉強会を通じてケースごとに適切に寄り添いながら問題解決に向けた対応を心掛けています。

2点目の回答です。カウンセリングに必要な資格取得者に加えて、学校現場での経験者を担当とする予定です。

3点目の回答です。毎月行われる情報共有、勉強会を踏まえ、スーパーバイザーと連携しながら手法の統一を進めています。

A委員

事業者①

担当している地域で起こった事例の対応策を教えてください。

ひとり親世帯のケースについて、家庭からの支援も必要になることがあるため、学校、教育委員会のみではなく、必要に応じて家庭との連携を進めな

C委員	<p>から課題解決に取り組んでいます。</p> <p>誤ったカウンセリング対応等で問題化してしまったケースの対応方法を教えてください。</p>
事業者①	<p>個別に特別な配慮が必要な場合には、スーパーバイザーを中心にカウンセラー間で連携を取りながら解決につなげていきます。</p> <p>(3) 採点</p>
B委員	<p>事業者②</p> <p>(1) プレゼンテーション (事業者説明)</p> <p>(2) 質疑応答</p> <p>2点質問があります。</p> <p>1点目は、これまで関わってきた自治体の実績はどの程度あるか教えてください。</p> <p>2点目は、対応してきた自治体の中でどのような問題が起こっているか教えてください。</p>
事業者②	<p>1点目の回答です。自治体での実績はないですが、2つの学校での実績があります。</p> <p>2点目の回答です。これまでの対応では問題は起きていません。</p>
D委員	<p>2点質問があります。</p> <p>1点目は、これまでの相談件数を教えてください。</p> <p>2点目は、家庭内の状況に合わせてどのようにアプローチをしているか教えてください。</p>
事業者②	<p>1点目の回答です。約100件程度の相談件数があります。</p> <p>2点目の回答です。担当する地域の教育委員会、教育相談員、子ども家庭支援センター等との連携と、家庭に寄り添えるよう丁寧に聞き取っていきながら、具体的かつ現実的な見通しを立ててアプローチしていきます。</p>
E委員	<p>2点質問があります。</p> <p>1点目は、港区独自の特性としてどのような問題を抱えていると想定しているか教えてください。</p> <p>2点目は、スクールカウンセリングの対応が長引いた場合、会社としての手法が統一されていないと品質の担保が難しくなると思いますが、会社として独自のノウハウがあれば教えてください。</p>
事業者②	<p>1点目の回答です。常に私立学校等への受験を意識している児童・生徒が多いと考えているため、表面に出せなくても、悩みを抱えていると想定して、子どもらしさを失わないように支援していくつもりです。</p> <p>2点目の回答です。スクールカウンセリングについては、常に学校の中で対応していくこと、また、チームとして対応していくことが大事と考えているため、担当するカウンセラーに指導していきます。そして、日々の日報を通じて支援を引き継いでいき、情報伝達をしていくことが継続して品質を担保していくことにつながると考えています。</p>
A委員	<p>2点質問があります。</p> <p>1点目は、地域の教育委員会、教育相談員、子ども家庭支援センターとの連携の具体例を教えてください。</p> <p>2点目は、アプリを活用してカウンセラー同士の情報共有を行うとありますが、どの端末でどの程度の情報を共有するのか教えてください。</p>
事業者②	<p>1点目の回答です。対策委員会を開き、子供たちや家庭等の具体的な情報の共有を行う予定です。</p> <p>2点目の回答です。アプリはカウンセラーごとの個人のスマートフォンで</p>

<p>A委員 事業者② C委員 事業者② E委員 事業者②</p>	<p>活用します。活用事例は、勉強会や東京都の研修等のスケジュール管理や情報共有を行うために活用します。</p> <p>年間でかなりの数のケースを取り扱うことが想定されますが、全てのケースについて対策委員会を開くのでしょうか。</p> <p>支援が必要なケース、学校内で対策が必要なケース、多方面の連携が必要なケース等、ケースの優先順位をつけながら対策委員会を開いていく予定です。</p> <p>質の担保を図るために、ある程度継続的な研修が必要と考えていますが、どのような研修体制を想定しているか教えてください。</p> <p>スクールカウンセリング講座か、個別のグループで研修を行うかの実施形態は確定していませんが、継続的な研修を実施予定です。</p> <p>児童・生徒がすぐに受診ができるように、精神内科等との連携はとっているという認識で間違いはないでしょうか。</p> <p>何かあった際には、受診ができる体制を整えたいと考えています。</p> <p>(3) 採点</p>
	<p>4 採点結果集計 (採点結果集計について、事務局説明) 事業者① 1, 500点満点中1, 024点 事業者② 1, 500点満点中888点</p>
<p>B委員 E委員</p>	<p>5 審査講評</p> <p>事業者①は、実施体制の充実さから、関係機関との連携が十分に図れると判断しました。また、これまでの実績から様々なケースへの対応力が見込まれると判断しました。</p> <p>事業者②は、研修体制、人材開発のノウハウは持っていましたが、人員体制が乏しく、業務を任せるには不安と判断しました。</p> <p>事業者①は、人員体制、連携体制が十分に整っていると判断しました。</p> <p>事業者②は、ビジネスプランは魅力的だと感じましたが、港区の規模を請け負うだけの人員体制に不安があると感じました。</p>
<p>D委員 A委員</p>	<p>事業者①は、これまでの実績から、有事の際に教育委員会を含む関係機関との連携が適切に図れると判断しました。</p> <p>事業者②は、今後の発展性が見込まれる内容の提案となっていましたが、人材会社という点から、質の良い人材を担保できるかが不安と判断しました。</p> <p>事業者①は、カウンセラーだけでは解決できない課題には、スーパーバイザーが中心となり、勉強会や情報共有を通じて解決できる実施体制が評価できると判断しました。</p> <p>事業者②は、個別のケースで解決困難な場合には、対策委員会を開き、教育委員会、教育相談員、子ども家庭支援センターとの連携しながら対応できるところが良いと判断しました。</p>
<p>C委員</p>	<p>事業者①は、人員体制の充実さから様々なケースに対応できると判断しました。</p> <p>事業者②は、港区の相談件数に耐えられるだけの対応が難しいと判断しました。</p>
<p>委員長</p>	<p>6 事業候補者の決定 集計結果をもちまして、当委員会として、事業者①を事業候補者として決定してよろしいでしょうか。</p>

一同賛成

協議の上、事業者①を事業候補者、事業者②を次点候補者に決定します。

7 その他
(事務局説明)

8 閉会